

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表
(平成24年1月分)

ご協力ありがとうございました。平成24年1月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 153社 回答率 92.2%

調査項目	前 月 比					計	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況		10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	
売上数量	10社 6.5% (7.8)	24社 15.7% (9.2)	57社 37.3% (36.6)	42社 27.5% (30.1)	20社 13.1% (16.3)	153社	16社 10.7% (15.5)	29社 19.5% (20.9)	53社 35.6% (33.1)	31社 20.8% (18.2)	20社 13.4% (12.2)	149社
売上高	6社 3.9% (7.8)	27社 17.8% (11.8)	51社 33.6% (32.7)	48社 31.6% (32.0)	20社 13.2% (15.7)	152社	17社 11.5% (14.8)	24社 16.2% (22.8)	49社 33.1% (30.2)	35社 23.6% (20.8)	26社 15.5% (11.4)	148社
在庫数量	2社 1.4% (2.1)	27社 18.4% (21.9)	86社 58.5% (49.3)	25社 17.0% (24.7)	7社 4.8% (2.1)	147社	13社 9.1% (7.9)	28社 19.6% (16.5)	63社 44.1% (51.1)	30社 21.0% (15.8)	9社 6.3% (8.6)	143社
販売単価	0社 0.0% (2.0)	3社 2.0% (2.7)	104社 70.3% (65.8)	40社 27.0% (28.9)	1社 0.7% (0.7)	148社	2社 1.4% (3.5)	22社 15.5% (22.2)	67社 47.2% (46.5)	45社 31.7% (23.6)	6社 4.2% (4.2)	142社
収益状況 (粗利)	3社 2.0% (4.6)	23社 15.1% (9.9)	65社 42.8% (38.4)	47社 30.9% (32.5)	14社 9.2% (14.6)	152社	12社 8.2% (8.8)	22社 15.1% (19.0)	54社 37.0% (34.7)	40社 27.4% (28.6)	18社 12.3% (8.8)	146社
稼働率 (生産・加工設備)	1社 0.8% (4.0)	20社 16.1% (12.0)	62社 50.0% (43.2)	33社 26.6% (29.6)	8社 6.5% (11.2)	124社	9社 7.4% (11.6)	20社 16.5% (21.5)	57社 47.1% (41.3)	27社 22.3% (16.5)	8社 6.6% (9.1)	121社
入出庫の トラック台数	3社 2.1% (3.5)	17社 11.6% (13.3)	77社 52.7% (59.4)	40社 27.4% (21.7)	9社 6.2% (2.1)	146社	10社 7.1% (7.9)	21社 14.9% (23.0)	64社 45.4% (41.7)	36社 25.5% (19.4)	10社 7.1% (7.9)	141社
	現在の景況感					143社	3ヶ月後の景況予測					139社
	1社 0.7% (2.1)	13社 9.1% (9.1)	67社 46.9% (42.7)	39社 27.3% (24.5)	23社 16.1% (21.7)		0社 0.0% (1.5)	31社 22.3% (19.1)	81社 58.3% (58.8)	22社 15.8% (16.9)	5社 3.6% (3.7)	
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります
 ②()内の数字は前月のパーセントです
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は
 特記事項欄に別途記載いたします
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

景況実感調査（1月） 特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適切な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板・表面処理鋼板

- ① 概況は前月と変化なし。スクラップ価格下落と円高の長期化から、市況は弱く、トヨタへの5%といわれる値下げも不安要因となり、東日本の復興需要と輸出の低迷、自動車増産とその他業種も含む海外移転等々、好材料と悪材料の綱引きが続き、目先の見通し立ちづらい。足下はメーカー在庫も品種によりかなり余剰感も実感され、反転への足取りは重そうだ。サッシ関連会社は、皆忙しく、筐体、盤関連もタイ復旧特需もあるという。いずれにせよ、まだら模様か。
- ② 年が明けてから荷動きに一服感があったが、中旬以降から少しずつ荷動きが戻ってきている。（価格は徐々に落ちている）まだ具体的ではないが、復興向けではないかと思われる引き合いが散見されてきているので、取りこぼしのないようにしていきたい。
- ③ 減原発政策への動きに絡む、代替電力対応関連の需要が増加してきた。震災後の電力政策の全貌が不透明である、継続的復興需要としての動きにはもう少し時間がかかりそうである。更に個々の物件は短納期のものが多くなり、対応に苦勞するケースが増え始めた。原材料は為替問題からの輸出玉余りと国内需要減退により、需給緩和状態で価格は低下傾向にある。
- ④ ユーザーおよび三次店等の在庫が少なく、当用買いで運用しているため、実需見合いの動きで推移しており、荷動きに大きな落ち込みはない。市況も横這いで、上伸気配がなく、流通の在庫意欲もない。当面、膨らんだ三品在庫を50万ト位減らすことが早急の課題だ。
- ⑤ 特約店は販売減少が止まらない。

中板

- ① 荷動きは相変わらず低調で推移。建築需要も復調の兆しはまだ見られず、先行き不透明な状況が続く。市況は東鉄の2ヶ月据え置きで、底値感が窺えるが大きな変化は見られない。在庫は当用買いに徹しており、当面はこの状況が続くと思われるが、輸入材の動向、電力値上げ等、変動要因も含んでおり、動向を注視していきたい。
- ② 20日過ぎから引合いが減ってきている。在庫意欲もなく、小ロットさえ運賃を掛けて納入するケースも出始めている。利益率のますますの低下と同様に我々のモチベーション(志気)維持にも影響しかけている。

厚板

- ① 当月は9月頃より立ち上がった土木関連の加工が全体の8割近くまで達しており、他分野が少ない中、比率としてはかなり高い水準となっている。3月頃には新規橋梁の加工が始まるため、現在加工中の土木と合わせると、山積みとしては今までの最高水準になるものと思われる。ただし、価格的には厳しい物件もあり、収益面においては、数量の増加とは一概に比例はしない。春先以降はまだ不透明であるが、建設内需が多少とも増える見通しであり、期待するところ大である。また、厚板が

需要減少により需給が緩和されていることも、受注機会が増えることから歓迎するところである。

- ② 支給材比率が12月よりも高くなった。

—舟爰开彡金岡

- ① 各指標とも前月比「やや減少」なるも、営業日数が2日少ないので、実質横這いの商況である。これで、昨年9月以降5ヶ月連続、同水準の商況であるが、年度末、新年度入りを目前にして商況のレベルアップ、改善が可能となるのではないか。
- ② 3月11日で震災後1年を迎えると、ようやく東北地方で土木が動き出すとのゼネコンからの話がある。東北地方の復興を早く進めて、日本全国が元気になるようにと願う。

工工开彡金岡

- ① 荷動きは、1月後半から少し落ち込んでいる状態で、販売価格も若干下降気味だが、在庫店として採算を考えると、現状価格を維持するしかない。
- ② 1月中旬から需要は落ちている。大雪の影響が少しあるのかと思われる。一時的な現象であれば良いのだが、これが長く続けば市況に影響してくる。

異形棒金岡

- ① 鉄筋店売は荷動き低位安定で変わらず。単価も同様。物件向けについては、関東鉄筋メーカーが、先行きの電力問題もあり、安値に抵抗。ゼネコン等ユーザーは、スクラップ安を理由に安値を要求。市中全体としては、現在、物件が少なく若干安値寄り。
- ② 前半は堅調気味であったが、後半より引き合い、荷動きとも減少。

平金岡

- ① メーカーは値上げしたが、市況はまったく動いていない。荷動きは先月同様に低位安定。

構造用金岡

- ① 需要環境は、足下の自動車関連は堅調な動きとなっているが、先行きの不透明感は強い。建設機械関連は、大型機種は堅調だが、中小型は生産を下方修正している。一方、仲間売り等の店売りについては自動車関連比率が低く、荷動きは減少傾向となっている。市況については、荷動きが弱まっていることもあり、さらに弱含みとなっている。
- ② 一般の店売りの動きが鈍く、先行きに不透明感を強めている状況から、弱含みに推移している。

その他

<曲げ加工>

- ① かたまった大型鋼管を加工できたのが、前月よりやや増加に繋がった。一般鋼材については、1月の稼働日数が少ない割には、まずまずの出来であった。今後、一般的に見れば民間等の設備投資が増えれば加工物も増えるだろう。

<軽天材>

- ① 長期に亘る荷動きの鈍さから脱し、工事は動き始めた。しかしながら、2年半にも亘る長い不需要期の間に離職した職人も多く、人手不足に悩んでいる。人手不足によって工程先延べになっている現場もあり、潜在需要は動き以上にあると考えられる。

<スクラップ>

- ① 12月末より相場が下がり始め、1月末までに12月比10%前後下がる。海外の旧正月休みもあり、荷動きは弱かった。
- ② 工場の廃業が多い。

<金属表面処理加工>

- ① 1月は物件物の納期調整があり、計画処理量より微減。紐付き材は計画通り。スポットは前月比20%増にて推移。現在、引き合いも多く、中には復興関連の引合いも出始めた状況。2月も紐付き、物件物を中心に高操業にて推移しそうである。